

学校だより

# あ の み

令和二年度 七月号  
志布志市立尾野見小学校

## どんなトンネルにも必ず出口はある

校長 宗岡 克英

梅雨の終わりの大雨は熊本県の人吉地方に大きな災害をもたらしました。報道によると、被害に遭われた方々はまさか自分が住んでいる地域がこんな被害を受けるとは思っていないかたつたようです。尾野見小学校も七月六日(月)からの大雨により、三日間の学校休業を余儀なくされました。土砂崩れのために道路が通れなかったり、水道が断水して生活に不自由が生じた御家庭もありました。七月十六日(木)には志布志市において十二、十三例目となる新型コロナウイルスにおいて十二、十三例目となる新型コロナウイルス感染者が確認されました。まさか自分たちが住んでいる志布志市でも感染が広がるとは誰が予想したでしょうか。

大雨などの自然災害を止めることはできません。また、広がった新型コロナウイルスを無くすることも今のところできません。でも私たちは、自然やウイルスの猛威に対して被害を最小限に食い止めるために対応策を考え、実行することはできます。

大雨などの自然災害に対しては日頃から小まめに情報を収集し、避難経路や避難場所を確認しておく。新型コロナウイルスに対してはこれ以上の感染拡大を防止するために人と人の距離の確保、マスクの着用、

### 【校訓】 明るく・強く正しく・すこやかに

- 七月の生活目標
- 暑さに負けずがんばろう。
- 七月の保健目標
- 夏を元気に過ごそう。

手洗い、三密の回避など「新しい生活様式」をみんな実践する。これらが自然災害の発生や新型コロナウイルス感染拡大に際して私たちに求められていることだと思いません。

白血病という病におそわれながらも病気を克服し、次のオリンピック出場を目指している水泳の池江璃花子選手のことを報道されてきました。その前向きな姿は、私たちに大きな勇気を与えてくれます。「どんなトンネルにも必ず出口はあります。みんなで乗り越えていきましょう」と池江選手は私たちに呼びかけています。

### 水泳参観

七月一日に、水泳学習の参観を行いました。例年は、水泳学習の成果を水泳大会という形で実施していましたが、今年は、新型コロナウイルスの感染防止による臨時休業で、学習が、予定通りに進めることができませんでした。



た。その学習の時間を確保するため、七月十一日から七月三十一日まで、学校の登校日となりました。

### 救命救助訓練

そこで今回は、子どもたちが、学習している様子を、参観していただくことにしました。三密にならないように、学年を三つに分けて実施しました。保護者の皆さんは、子どもたちと先生との学習の関わりをじっくり参観することができたのではないのでしょうか。参観に際して、ソーシャルディスタンスの御協力ありがとうございました。

学校職員は六月に、救命救助訓練を実施し、保護者は、夏休みのプール開放を見据え、授業参観後に訓練を行いました。どちらも志布志消防署員の方を講師に、実際にこった時に対応できるよう、できるだけ全員がしっかりと行えるよう実施しました。

感染症が広がる今の現状での救命救助の方法などについてもお話いただきました。保護者の感想の中には、「改めて知ることができてよかった。」「万一の時は訓練を生かしていきたい」などの感想が寄せられていました。

また、子どもたちも七月中旬に、着衣水泳を実施し、足のつかない場所や水中で救助を待つ場合など、実技を通して学習を行いました。

